

# Joint Concert2018

～であい～



大阪教育大学混声合唱団  
関西大学グリークラブ  
奈良女子大学音楽部  
和歌山大学混声合唱団



# Joint Concert 2018 ～であい～

2018年7月1日(日)

大阪狭山市文化会館 SAYAKA ホール 大ホール



## 御挨拶

本日はお忙しい中、Joint Concert 2018 ～であい～ にご来場いただき、誠にありがとうございます。

本演奏会は、大阪、奈良、和歌山の大学の男声、女声、混声の合唱団で構成されています。普段では、なかなか関わりを持つことがないそれぞれの声が今回の演奏会で1つになり、素晴らしい演奏を皆さまに届けられる、そんな今日という日を迎えられることを喜ばしく思います。

Joint Concert は毎年行われていますが、このメンバーで歌えるのは今回のJoint Concert ただ一度きりです。だからこそ私たちはこの～であい～を大事に思い、このメンバーで歌えることの喜びを皆さまにもお届け出来れば幸いです。最後になりますが、本演奏会を開催するにあたり、ご指導・ご協力を下さいました諸先生方、OB、OGの皆様、関係者各位、そして本日足を運んで下さいました皆様に、団員一同心より御礼申し上げます。

実行委員長 谷内 俊晴

# program

## 1st 関西大学グリークラブ

男声合唱のための組曲「旅」より

1. 旅立つ日
3. 旅のよろこび
5. かごにのって
6. 旅のあとに
7. 行こうふたたび

作詩：山之井愼/田中清光  
指揮：熊川泰亮

作曲：佐藤眞  
ピアノ：武知朋子

## 2nd 大阪教育大学混声合唱団

混声合唱とピアノのための「この星の上で」より

1. はる
2. 地球の客
4. ほほえみ
5. 今年

作詩：谷川俊太郎  
指揮：水円和

作曲：松下耕  
ピアノ：前川理梨子

Intermission

## 3rd 奈良女子大学音楽部

「SECHS MOTETTEN」より

1. Exsultavit
2. O vos omnes
5. Justorum animae
6. Tu es Petrus

作曲：Franz Burkhardt  
指揮：今西麻季

## 4th 和歌山大学混声合唱団

混声合唱曲集「かなしみはあたらしい」

作詩：谷川俊太郎  
指揮：小林靖果

作曲：信長貴富  
ピアノ：三好里依  
ギター：金尾壮徳

Intermission

## 5th 合同ステージ

二群の合唱団とピアノのための「蜜蜂と鯨たちに捧げる譚詩」

作詩：白石かずこ 訳詩：Roger Pulvers

作曲：三善晃

客演指揮：西岡茂樹 客演ピアノ：浅井道子

## クロージング

「唱歌の四季」より

編曲：三善晃

1. 朧月夜 作詞：高野辰之 作曲：岡野貞一
5. 夕焼小焼 作詞：中村雨紅 作曲：草川信

客演指揮：西岡茂樹 客演ピアノ：浅井道子

## ~1st Stage~

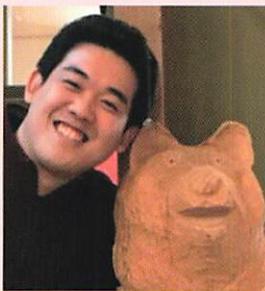


ちよーす！！関西大学グリークラブです！

私達は男声合唱であるため、見てわかる通り男のみの団です。でも、マネージャーさんは女性です。団員皆、個性が強くとめるのが大変ですが、団員皆で教え合いながら楽しく、時には厳しく練習しています。

男声合唱のための組曲「旅」

今回、演奏させていただく「旅」という曲は、力強い感じと哀愁漂う感じの交互に構成されている曲集です。その中で今回、歌わせていただく曲は男声合唱の迫力を皆さんに知っていただきと思い、力強い曲を主に選ばせていただきました。どうぞ、男声合唱の力強い歌をお聞きください。



指揮：熊川泰亮

大阪府出身。関西大学文学部3回生。大学に入ってグリークラブに入部。その後、指揮者という道を選び今にいたる。熊川という名前であるため先輩から「くまちゃん」、同期から「くま」、後輩から「くま先輩」と呼ばれ親しまれている。しかも、この体つきである。完璧な熊だ。しかし、体つきは熊でも中身は愛情に溢れていて、ロマンチストである。その彼から振りだされる、力強い指揮をご期待ください。



ピアノ：武知朋子

京都市立堀川音楽高校、京都市立芸術大学音楽学部ピアノ専攻卒業。ミュンヘンにてM・シュリューター、カールスルーエにてW・ヤーンの室内楽マスターコース修了。その他ミラノ、ウィーンにおいても研鑽。'95友愛ドイツ歌曲コンクールにおいて最優秀伴奏者賞受賞。'03トスティ歌曲国際コンクールにおいてトスティ・ピアノ賞受賞。第17回京都芸術祭において最優秀協演賞受賞。

様々なジャンルの音楽家との共演、音楽コンクールにおいて伴奏、創作オペラのヨーロッパ公演などアンサンブルピアニストとして活動。

関西大学グリークラブでは、第48回定期演奏会よりピアニストを務めている。

# 男声合唱のための組曲「旅」より

作曲 佐藤眞 作詩 山之井慎/田中清光

## 1 旅立つ日

行け 旅に  
いまこそ！  
憧れに になわれて

行け 旅に  
いまこそ！  
憧れに になわれて

はてしない山路を行け  
いまこそ！  
憧れに になわれて

草原に草雲雀  
ひかりはみなぎり  
ああ 湧きあがる  
よろこびの歌声

## 3 旅のよろこび

飛んでる飛んでる 飛んでる雲が  
みどり山脈 わたつて飛ぶぞ  
おーい！  
そよ風にむけ いま叫ぶ  
旅のよろこび  
はるか青空にいま心ひらく  
旅のよろこびここにいま知る

飛んでる飛んでる 飛んでる夢が  
はるか夕日にむかって飛ぶぞ  
おーい！  
夕風にむけ いま叫ぶ  
旅のよろこび  
かなた黒潮にいま心ひらく  
旅のよろこびここにいま知る

## 5 かごにのつて

えーいッホ えーいッホ  
かごがゆれてくそば咲く道  
浅間嶺ごしに青空みれば  
羊の雲がはるばる浮ぶ  
かごかき帽子がおおきくゆれた

えーいッホ えーいッホ  
峠こえればきび咲く道  
落葉松林にコガラがないて  
すすきの手袋かすかにゆらく  
かごかき帽子がおおきくゆれた

## 6 旅のあとに

疲れきって  
わびしいはたごに  
足を 投げだす  
ああ 道は  
立ちこめる闇に消され  
地図も失くした 旅のおわり

疲れきって  
枯草の丘に  
足を投げだす  
ああ 風は  
吹きぬける胸のうつろを  
空も翳った 旅のおわり

薔薇色の雲は ぐだけて  
夢は消え ひかりほろび  
ああ いまは哀し  
旅のおわり

## 7 行こうふたたび

語ろう  
美しい旅の日を  
想い出は  
あまく かなしく  
はかなく さびしく  
心の傷を  
くりかえし  
撫でるとも

行こう  
ふたたび  
旅立とう  
われらのまなかに  
白雲ながれて  
われらのこころは  
希望にもえたつ  
ああ  
未来は明るく輝やき  
いまこそ 旅をおもう  
行こう  
美しい旅に

行け 旅に  
いまこそ！  
憧れに になわれて



みなさん、こんにちは！大阪教育大学混声合唱団です！

私たちは、坂とエスカレーターを登った先にある、植物と虫に囲まれたサークル棟で練習を行っています。新年度を迎えて元気な新入生が加わり、ますます賑やかな団となりました。個性豊かな団員達によるパート練は、どのパートもクセがスゴいです。しかし全体の合わせになれば、より良いハーモニーを求めて全員が団結しています。

個性と協調性を併せ持つ、そんな大教混による演奏をどうぞお楽しみください。

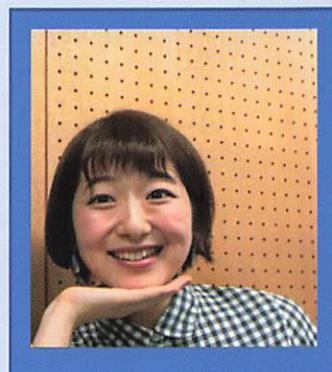
~混声合唱とピアノのための『この星の上で』~

谷川俊太郎の世界観にただただ感動し、詩に寄り添いながら、松下耕により作曲された曲集。「この星の上で」豊かに身勝手に、しかし懸命に生きる私たち人間に語りかけています。美しく壮大な曲たちは難しくもありましたが、私たちなりに考え、想いを込めて練習してきました。お聴きください。

誰よりも我が団を愛する熱いみずちゃん…持ち前の笑顔で練習を明るくリードしつつ、思いのこもった的確な指導をしてくれます。時々こぼれる故郷島根コトバも素敵。みずちゃんの情熱あふれるステージをお楽しみください。



指揮:水田和



ピアノ:前川理梨子

人の話を聞きだすのが上手で誰よりも団員の事情に詳しくもある、大教混の頼れるピアニスト。普段のへらへら(本人談)と、キリッとした時のギャップがとっても魅力的なりりちゃんは、今日も美しくお洒落にピアノを弾きこなします。

混声合唱とピアノのための

# 『この星の上で』

作詩：谷川俊太郎

作曲：松下耕

はる（「二十億光年の孤独」より）

はなをこえて

しろいくもが

くもをこえて

ふかいそらが

はなをこえ

くもをこえ

そらをこえ

わたしはいつまでものぼってゆける

はるのひとつき

わたしはかみさまと

しずかなはなしをした

地球の客（真つ白でいるよりも）より）

寝の悪い子どものように

ろくな挨拶もせず

青空の扉をあけ

大地の座敷に上がりこんだ

私たち 草の客

木々の客

鳥たちの客

水の客

したり顔で

出された御馳走に

舌つづみを打ち

景色を讚めたたえ

いつの間にか

主人になったつもり

文明の

なんとという無作法

だがもう立ち去るには

遅すぎる

死は育むから

新しいいのちを

私たちの死後の朝

その朝の

鳥たちのさえずり

波の響き

遠い歌声

風のそよぎ

聞こえるだろうか

いま

ほほえみ（空に小鳥がいなくなった目）より）

ほほえむことができぬから

青空は雲を浮かべる

ほほえむことができぬから

木は風にそよぐ

ほほえむことができぬから

犬は尾をふりーだが人は

ほほえむことができるのに

時としてほほえみを忘れ

ほほえむことができるから

ほほえみで人をあざむく

今年（「祈らなくていいのか」より）

涙があるだろう

今年も

涙ながらの歌があるだろう

固めたこぶしがあるだろう

大笑いがあるだろう今年も

あくびをするだろう

今年も

短い旅に出るだろう

そして帰ってくるだろう

農夫は野に

数学者は書齋に

眠れぬ夜があるだろう

だが愛するだろう

今年も

自分より小さなものを

自分を超えて大きなものを

くだらぬことに喜ぶだろう

今年も

ささやかな幸せがあり

それは大きな不幸を

忘れさせることはできぬだろう

けれど娘は背が伸びるだろう

そして樹も

御飯のおいしい日があるだろう

新しい靴を一足買うだろう

決心はにぶるだろう今年も

しかし去年とちがうだろうほんの少し

今年も

地平は遠く果てないだろう

宇宙へと大きなロケットのはのぼり

子等は駆けてゆくだろう

今年も飲びがあるだろう

生きてゆくかぎり

いなむことのできぬ希望が

# 奈良女子大学音楽部

~3rd Stage~



私たち奈良女子大学音楽部は、奈良女子大学生による少人数の女声合唱団です。今年度は4回生以上6人、3回生5人、2回生5人に6人の新入部員を迎え、総勢22人となりました。

奈良県合唱連盟合唱祭や関西合唱コンクール等への出演、そして年末の定期演奏会の開催に向けて、日々練習に励んでいます。学年の枠を超えて部員間の仲が良く、いつも笑顔で溢れています。楽曲と真摯に向き合う姿勢や団結力がハーモニーにつながっていると思いますので、ぜひそこにも注目して演奏をお楽しみください。

## 曲紹介

Motet(モテット)とは、13世紀以来ヨーロッパで発達した、聖書の詩編などを歌詞にもつ宗教音楽曲です。今回は曲集全6曲のうち4曲を歌わせていただきます。定期演奏会では6曲全て通して披露する予定！ Franz Burkhardtによる本曲は通模倣様式が多く使われている本曲を通して、女声合唱ならではの美しいハーモニーをお聞きください♪



## 指揮：今西麻季

奈良生まれの奈良育ち。

スラリとしたシルエットが印象的である。

練習中はもちろん、練習後の連絡も怠らないほどとても真面目な性格だが、本人曰く「喋るとあほがバレる」。

部員皆から好かれているが、特に同回生からの愛は強く、最近某SNSに彼女専用のアルバムが作られたほど。

←厨二病キャラが好き。

※本人は決して厨二病ではない。

そして自他共に認める、プーさん狂信者

# 『SECHS MOTETTEN』作曲：Franz Burkhardt

## I. Exsultavit

(Magnificat anima mea Dominum.)  
Et exsultavit spiritus meus: in Deo salutari meo.  
(Quia respexit  
humilitatem ancillae suae:  
ecce enim ex hoc  
beatam me dicent omnes generationes.)  
Quia fecit mihi magna, qui potens est:  
et sanctum nomen ejus.

Alleluja!

## II. O vos omnes

O vos omnes  
qui transitis per viam:  
attendite et videte  
si est dolor sicut dolor meus.

## V. Justorum animae

Justorum animae in manu Dei sunt,  
et non tanget illos tormentum malitiae,  
Visi sunt oculis insipientium mori,  
illi autem sunt in pace.

## VI. Tu es Petrus

Tu es Petrus,  
et super hanc petram  
Aedificabo Ecclesiam meam,  
Et portae inferi non praevalent adversus eam:  
Et tibi dabo claves Regni caelorum.

( )は作曲されていない。

### 【訳】

(わたしの魂は主をあげ、)  
わたしの霊は救い主ある神を喜びたたえます。  
(身分の低い、この主のはしめにも  
目を留めてくださったからです。  
今から後、いつの世の人も  
わたしを幸いな者と言うでしょう、)  
力ある方が、わたしに偉大なことをなさいましたから。  
その御名は尊く、  
新約聖書 ルカによる福音書 1. 47-49 より  
主を賛美せよ。

旧約聖書 詩編より

### 【訳】

道行く人よ、心して  
目を留めよ、よく見よ。  
これほどの痛みがあったろうか。  
わたしを責めるこの痛み  
主がついに怒ってわたしを懲らす  
この痛みほどの。

旧約聖書 哀歌 1. 12 より

### 【訳】

神に従う人の魂は神の手で守られ、  
もはやいかなる責め苦も受けることはない。  
愚か者たちの目には彼らは死んだ者と映り、  
この世からの旅立ちは災い、  
自分たちからの離別は破滅に見えた。  
ところが彼らは平和のうちにいる。

旧約聖書続編 知恵の書 3. 1-3 より

### 【訳】

あなたはペトロ。  
わたしはこの岩の上にわたしの教会を建てる。  
陰府の力もこれに対抗できない。  
わたしはあなたに天の国の鍵を授ける。

新約聖書 マタイによる福音書 16. 18-19 より

出典：新共同訳聖書(1987年、日本聖書協会)

~4th Stage~

# 和歌山大学混声合唱団



こんにちは。和歌山大学混声合唱団です。  
私たちの今年のコンセプトは「彩（いろどり）」です。  
個性（彩り）豊かなたくさんの団員が互いの個性を尊重しあい、  
心と歌声を一つにして私たちにしかできないハーモニーを  
奏でていきたい。そんな想いを持って日々一生懸命に、  
そして楽しく活動しています！

「歌っていいですか」という問いかけから始まるこの曲集は  
成長過程にある私たちの心の内を切実に表現しており、終曲では  
未来へと向かう強いメッセージが込められています。ジャズや  
ポップスなど四曲それぞれ違った曲調とともに  
私たちのエネルギー溢れる歌声をお楽しみください。

指揮：小林靖果

はっきりした物言いと明るい笑顔でみんなを引っ張っていくパワフルな女性。いちご好きという可愛らしい一面と滋賀に対する深い愛を持つ。



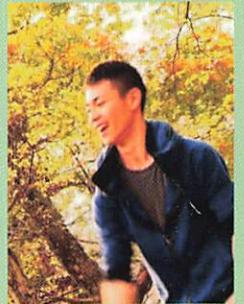
ギター：金尾壮徳

自パートからの信頼が厚いテナーのパートリーダー。甘いものが大好きで団員とスイーツを食べに行くこともしばしば。わこんでは今日も彼の爽やかスマイルが輝く。



ピアノ：三好里依

現在、和歌山大学教育学部3回生。学部では音楽を専攻しており、得意な楽器がピアノにサクソと多才。好きなことはサクソとミュージカル観劇。



作詩 谷川俊太郎

作曲 信長貴富

歌っていいですか

歌っていいですか  
独りの部屋であなたがうなされているとき  
歌っていいですか  
あなたが苦しい夢の中で

歌っていいですか

塹壕の中であなたが照準を合わせているとき

歌っていいですか

幼い日の思い出のしらべを

歌っていいですか

ふるさとを見失いあなたが路上にうずくまるとき

歌っていいですか

足元の野花の美しさを

歌っていいですか

もう明日はないとあなたが無言で叫んでいるとき

歌っていいですか

暮れかかる今日の光のきらめきを

歌っていいですか

この世のすべてにあなたが背を向けるとき

歌っていいですか

愛を あなたとそして私自身のために

泣いているきみ

泣いているきみのとなり座って  
ぼくはきみの胸の中の草原を想う  
ぼくが行ったことのないそこで  
きみは広い広い空にむかって歌っている

泣いているきみが好きだ

笑っているきみと同じくらい

哀しみはいつもどこにでもあって

それはいつか必ず飲びへと溶けていく

泣いているわけをぼくは訊ねない

たとえそれがぼくのせいだとしても

いまきみはぼくの手のとどかないところで

世界に抱きしめられている

きみの涙のひとつずつのうちに

あらゆる時代のあらゆる人々がいて

ぼくは彼らにむかって言うだろう

泣いているきみが好きだと

かなしみはあたらしい

わたしたちのかおから

めをそらさないでください

たとえわたしたちのめが

あなたをみつめないとしても

あなたのきらいなだれかに

むけられているとしても

わたしたちのかなしみを

あなどらないでください

わたしたちはあなたのように

つかれてはいないから

かなしみはあたらしい

よろこびもいかりも

わたしたちのこころを

あなたとおなじと

おもわないでください

未来へ

道ばたのこのシミレが今日咲くまでに  
どれだけの時が必要だったことだろう  
この形この色この香りは計りしれぬ過去から来た

遠く地平へと続くこの道ができるまでに

どれだけのけものが人々を通ったことだろう

足元の土に無数の生と死が埋もれている

照りつけるこの太陽がいつか冷え切るまでに

目に見えないどんな力が働くのだろう

私たちもまたその力によって生まれてきた

人は限らないものを知ることではできない

だが人はそれを生きることができ

限りある日々の彼方を見つめて

未だ来ないものを人は待ちながら創っていく

誰もきみに未来を贈ることはできない

何故ならきみが未来だから

# ～合同ステージ～

## 二群の合唱団とピアノのための「蜜蜂と鯨たちに捧げる譚詩」

作曲：三善晃 作詩：白井かずこ 訳詩：Roger Pulvers

客演指揮：西岡茂樹 客演ピアノ：浅井道子

蜜蜂と鯨たちからの信頼を取り戻すために！

客演指揮 西岡茂樹

コスモポリタンの詩人、白石かずこさんの詩に、日本が世界に誇る巨匠、三善晃先生（1933～2013）が作曲、2001年12月に東京混声合唱団により初演された。2群の混声合唱団とピアノという編成で書かれており、今回は、「奈良女子大学 & 和歌山大学」がA群、「大阪教育大学 & 関西大学」がB群を構成している。

1曲目の「鯨たちに捧げる」は、『地球上の人間と自然の共存』がテーマであり、それを人間界の側からではなく、自然界の側の代表として「鯨」が登場して語り部を演じ、人間の救いを見いだすという構図。鯨たちは、人間が登場する遥か以前の約5000万年も前から海で暮らしており、海の中で遠距離コミュニケーションをしたり、毎年、新しい歌を作曲して歌い、それが仲間の中で流行するという。その生態はまだまだ人間にとっては未知であるが、少なくとも海の中でドカンと核爆発の実験をする野蛮な生物であるヒトよりは、ずっと気高い生き方をしているに違いない。曲の前半は、2群の鯨が日本語で掛け合いを演じ、後半は、同じ歌詞を今度は英語で一体となって歌う。jazzyなサウンドがとてもお洒落な、秀逸のア・カペラ作品である。

2曲目の「さまよえるエストニア人」は、『地球上の人間同士の共存』がテーマであり、その語り部は、北欧の小国エストニアの詩人、ヤン・カプリスキーである。ヤンが生まれたのは、スターリンとヒトラーが激しく対立していた1941年。北欧の豊かな自然に抱かれて「蜜蜂」を飼っていた家に生まれたヤンは、生後五ヶ月の時、父を失う。父はソ連に連行され、強制収容所で“消えた”あるいは“消された”。その後、一家は家を追われ、シェルターを逃げ回り、やっと戦火が止んだと思ったら、今度は東西冷戦。ヤンに平安が訪れるには、ベルリンの壁が壊れ、エストニアが独立を果たす1991年まで、さらに40年以上の歳月が必要だった。このヤンのことを、白石かずこさんは、ワーグナーの「さまよえるオランダ人」にひっかけて「さまよえるエストニア人」と呼んだのだ。曲調は一転し、ピアノの協奏により、シンフォニックで熱い歌声がマグマの如く噴出する！

蜜蜂もまた鯨と同様、太古の昔の約6000万年前から地球に暮らしていた。蜜蜂も鯨も、後から地球にやってきて、僅か数千年の間に地球にはびこり、自然を破壊し、残酷な兵器を使って殺し合いをする「人間」をどんな眼差しで見つめているのだろうか…。

彼らは絶望していない。それを超えて、鯨は“まだ見捨てたモンでもないネ”と呟き、蜜蜂は“帆をたたんじゃいけない 今こそ”とエールを送ってくれる。

21世紀の主演である学生諸君が、ひび割れた地球を前にして、何を思い、何を願い、何を祈るのか、三善先生をこよなく敬愛する浅井道子さんと共に、しかとこの目で確かめてみよう。今、合唱する意味が、そこから立ち昇ってくることを信じて。



客演ピアノ：浅井道子

都立芸術高校音楽科を経て桐朋学園大学音楽学部を卒業。ピアノを須貝久子、今泉統子、高良芳枝の各氏に師事。室内楽を三善晃氏に師事。

独唱、合唱、室内楽における共演者としてさまざまな演奏会、放送に出演。『Miyoshi ピアノメソード』をはじめ録音にも多数参加している。またソロコンサートのほか、東京文化会館主催『今日の作曲家』シリーズ、Music Today等で現代のピアノ作品を演奏した。

## 1 鯨たちに捧げる

彼らが海のなかで即興演奏をするなんて知らなかった  
彼らが毎年 新しい唄をつくるなんて知らなかった  
その唄がすぐアナウンスされて  
誰も唄いだすなんて知らなかった  
ある日 少年が海辺でフルートをふく  
それをきいてた鯨が そのメロディつかみ  
すぐアレンジして唄ってみせる  
“これは なかなか 面白い唄だぜ。”  
“人間も ちょっと いいメロディー  
もってるじゃないか  
み捨てたモンでもないネ。”  
そんなことしゃべりながら 鯨たち  
少年のフルートにあわせて 即興演奏  
メロディをキープしながら  
それをコーラスで変化をつける  
“おれたち 海の中のジャズミュージシャンだぜ。”  
鯨たちの演奏は水の下 これがホントの  
水奏楽団 それに毎年新しい唄をつくるなんて  
新年には全員 新しい唄おぼえて そろって  
唄いだすの きいたことがある？

I didn't know that they improvised in the sea  
I didn't know that they made up new songs every year  
I didn't know that the word got around immediately  
That they sang out the song, down to the last whale  
One day a boy plays his flute on the shore  
The whale hearing it catches on  
Scores the melody for voice and sings out  
“Not a bad song when you come down to it”  
“Humans have a more natural  
Rhythm than I expected  
There's hope for them yet”  
With these words the whales  
Bellow their choral variations  
Improvising on the boy's flute  
Without changing his theme  
“We're the jazz musicians of the oceans, man!”  
Under water they perform their truly  
Coral Symphony and every year they compose a new song,  
*learning it for the new year singing it out -ever hear of such a thing?*

## 2 さまよえるエストニア人

ライニング・ダッチマンではない  
さまよえるエストニア人に 昨日 逢った  
手紙の中で ヤンよ 祖父の代は  
広い庭園に帆を張り 天使たちが蜜蜂の歌を  
うたっていたのだった  
そのまた祖父の 祖父の 祖父の昔までは  
知らない 幼い日に ものころつかぬうち  
父を失った男の児は さまよえる人に  
やがて なっていくのだ  
いくら探しても 探しても 消えた 消された  
父のことは百の秘密 千の証言があるだけ  
“ほくは きみの父さん みたよ収容所で  
一緒にはたらいていたとき あの時とは 何か  
その男とは 父はA 父はB 父はC  
父はD 父をみかけた人たちのストーリーは  
ぜんぶバラバラの物語” それで僕は思う  
今 父がこの世によみがえってくれたなら  
二度と この土地なんか住みやしない  
別な大陸にでも 行ってるサ ここを 去って  
だが さまよえる現代のダッチマン ヤンよ  
帆をかけた天国の船にのってポーランド語を  
教えてる あ教授は誰? 彼の背中には  
羽が生えている だが あかぎれの手にも  
胸にも凍りついた血の跡があり 泣くんじやない  
かつての祖父の庭の樹木たちよ

そこで歌っていたことりたち虫たち 幼い坊やよ  
生きている時も 死んでいるときも  
俺たち フライニング・ダッチマンって唄が  
きこえてくるじゃない ヤンよ 手紙の中で  
きみの樹木がふるえ 父なる人のポーランド語の  
詩がきこえてくる  
帆をたたんじやいけない 今こそ あの船が  
庭を通りすぎるのだ 祖父の代の  
天使たち蜜蜂の歌うたっていた日の

# ～クロージング～

## 「唱歌の四季」より

1. 朧月夜 作詞:高野辰之 作曲:岡野貞一

編曲:三善晃

客演指揮:西岡茂樹

5. 夕焼小焼 作詞:中村雨紅 作曲:草川信

客演ピアノ:浅井道子

### 1 朧月夜

菜の花島に 入日薄れ  
見わたす山の端 霞ふかし  
春風そよふく 空を見れば  
夕月かかりて 匂い淡し

里わの火影も 森の色も  
田中の小路を たどる人も  
蛙のなくねも かねの音も  
さながら霞める 朧月夜

### 5 夕焼小焼

夕焼小焼で 日が暮れて  
山のお寺の 鐘がなる  
お手々つないで 皆かえろ  
烏と一緒に 帰りましょう

子供が帰った 後からは  
円い大きな お月さま  
小鳥が夢を 見る頃は  
空にはきらきら 金の星



### 客演指揮：西岡茂樹

1955年兵庫県生まれ。合唱指揮を田中信昭、須賀敬一の両氏に師事。高校時代から合唱と指揮を始め、大阪大学混声合唱団では学生指揮を3年間務めるが、そこで三善晃氏との運命的な出会いを果たし、以来、40年以上に亘り、三善作品をライフワークとして追いつけている。

1979年には豊中混声合唱団に入団、副指揮者を経て1989年より第8代の常任指揮者となる。また、2001年には豊混の支援を受け、次世代の合唱人の育成のために豊中少年少女合唱団を創設、その必然的結果として生まれた両団のコラボレーションによる、「芸術作品としての“大人と子どもが共に歌う合唱”」は、新しい潮流として大きな注目を集めている。

指揮活動は多岐に亘るが、その最大の関心は、『世界に誇ることができる日本固有の合唱芸術の創造』にあり、現代日本の作家の意欲的な作品を、委嘱初演を含めて、とりあげ続けている。

指揮者としての三善作品の初演は、「伝説（混声）」、「詩の歌（女声）」、「葉っぱのフレディ（大人と子ども）」、「豊中少年少女合唱団団歌（児童）」があり、他にも、池辺晋一郎、一柳慧、伊藤康英、魚路恭子、鈴木英明、高田三郎、

千原英喜(3作品)、寺嶋陸也(5作品)、新実徳英、信長貴富、萩京子(6作品)、松下耕、矢田部宏、山中千佳子、山岸徹(五十音順)の諸氏等への委嘱初演を成功させている。

現在、豊中少年少女合唱団、豊中混声合唱団の指揮を主軸に、女声合唱団あい(山口県)、女声合唱団Stella(三田市)、関西大学グリークラブ等の指揮者として活動する他、高校合唱部・大学合唱団・一般団体への客演指揮、各種合唱コンクールの審査員、合唱講習会の講師などを務める機会も多い。

関西合唱連盟理事、大阪府合唱連盟副理事長、日本合唱指揮者協会関西支部委員、21世紀の合唱を考える会「音楽樹」監事、宝塚国際室内合唱コンクール委員会理事、奈良学園大学教授。

# ～役員紹介～

●…各部署のチーフ



## 実行委員長：谷内俊晴

今回の Joint Concert で活躍してくれた役員のみんです！  
不甲斐ない実長をここまで支えてくれてありがとう！

### Conductor



#### 指揮者

- 熊川泰亮（関グリ）
- 水戸和（大教混）
- 小林靖果（和混）
- 今西麻季（奈良女）

### Stage Manager



#### ステージマネージャー

- 菱谷遼太郎（関グリ）
- 異颯馬（和混）
- 金町倭可子（大教混）
- 桐田佳苗（奈良女）

### Public relations



#### 渉外

- 伊藤智哉（和混）
- 大西潤（関グリ）
- 谷内俊晴（関グリ）
- 米井玲奈（大教混）
- 岡美佐（奈良女）
- 溝部明日香（大教混）
- 桐田佳苗（奈良女）

### Accounting



#### 会計

- 菱谷遼太郎（関グリ）
- 松永幸也（和混）
- 小山翼（大教混）
- 小林恭子（奈良女）

### Edit



#### 編集

- 福西直樹（関グリ）
- 越智響（大教混）
- 小野有香（和混）
- 小森理子（和混）
- 岡美佐（奈良女）



# 練習風景



A 群 girl



B 群 girl



謎のイケボ  
スーツ軍団



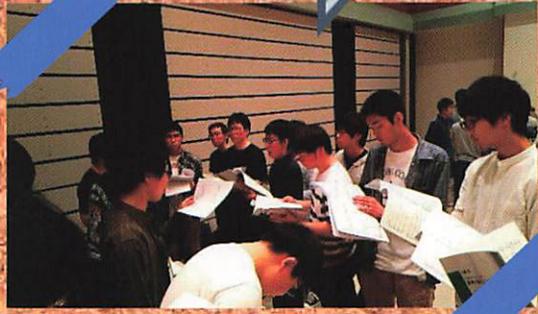
素敵な笑顔  
あざす^^





透き通る高音  
Tenor

低音響かす  
Bass



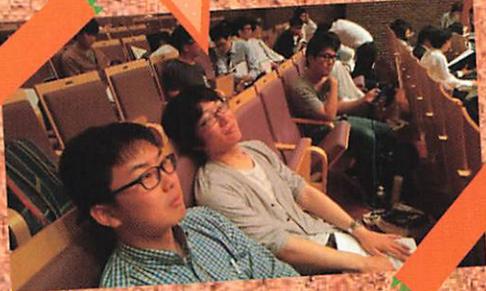
美しい高音  
の持ち主  
Soprano



ハーモニー  
を奏でる  
Alto



これはなかなか  
心地よい椅子  
だぜ〜♪



技系さん&指揮者さん  
が本領発揮!!!

# Member

## 関西大学グリークラブ

### Top

田中伶欧 (理工4)  
元岡風太 (理工4)  
熊川泰亮 (文3)☆  
後藤克也 (環3)♪  
佐野廣大 (法2)  
實吉聡太 (社安2)  
横山凜之介 (法2)  
工藤康暉 (社1)

### Second

松浦貴彦 (理工3)○  
谷内俊晴 (理工3)♪  
芦田一 (法2)  
榎木健太郎 (法2)  
末安優 (理工2)  
青木竜也 (化1)  
増村智久 (理工1)

### Baritone

赤崎友亮 (化4)  
平田大祐 (外4)  
赤澤学 (文3)  
菱谷遼太郎 (社安3)♪  
石川琢己 (理工2)  
木村俊輝 (経2)  
齊田亮太 (理工2)  
田尻友哉 (政2)  
上田悠生 (総情1)

### Bass

八里祐輝 (理工4)  
濱田真路 (理工4)  
大西潤 (化3)♪  
福西直樹 (環3)  
小坂征司 (商2)  
利秀哉 (環2)

### Manager

寺本彩香 (文4)  
朝田翔子 (法2)  
風間智仁 (法2)  
植田夏朋 (化1)

## 大阪教育大学混声合唱団

### Soprano

後藤七海 (音中4)  
和田栄 (音小4)  
金町倭可子 (芸音3)  
三浦佳奈子 (芸音3)♪  
水円和 (芸音3)☆  
滝川遥香 (音小2)  
西田保奈美 (家中2)  
足立明音 (芸音1)  
乾あすか (芸音1)

### Alto

竹入綾郁 (自然4)  
吉本恵理 (教育4)  
若井優季 (人間4)  
荒詩帆 (日ア3)  
越智響 (社小3)  
前川理梨子 (芸音3)  
溝部明日香 (教育3)○♪  
米井玲奈 (音中3)  
尾崎眞子 (理小2)  
春日井貴蘭 (芸音2)  
長田春花 (英コミ2)  
市川さくら (多文化1)  
西口実咲 (初教1)

### Tenor

佐藤宏哉 (理中4)  
中上武久 (特支4)  
小山翼 (社小3)♪  
羽鳥隼矢 (理小2)  
中川智貴 (理中1)  
横島勇司 (社中1)

### Bass

石原寿剛 (理小4)  
瓜生遥貴 (芸音3)  
大井楽 (自然3)♪  
辻雄伍 (理小2)  
田中森馬 (芸音1)  
中村拓人 (技中1)

## 奈良女子大学音楽部

### Soprano

三藤清香 (生物院1)  
水谷由貴 (心理4)  
桐田佳苗 (日ア3)♪  
大村ふみ (心身2)  
陰山亮子 (住環2)  
佐多綾花 (食物1)  
村田ほのか (衣環1)

### Mezzosoprano

石本美玖 (歴史4)  
西宮千晶 (歴史4)  
土師麻莉奈 (社情4)  
今西麻季 (臨床3)☆♪  
松尾綾乃 (化学3)  
大野穂乃歌 (生活文化2)  
河村妙奈 (食物2)  
東瀬千佳 (生活文化1)  
永井綾乃 (文1)

### Alto

阿久津めぐみ (歴史4)  
岡美佐 (食物3)○  
小林恭子 (日ア3)♪  
近藤真由 (情報2)  
野村光穂 (化学1)  
山本蓮 (文1)

## 和歌山大学混声合唱団

### Soprano

岸井綾香 (シス工4)  
佐々木友梨 (シス工4)  
出口恵未 (経済4)  
福本実耶 (シス工4)  
岡菜裕子 (観光3)♪  
小森理子 (シス工3)  
山野季穂 (経済3)  
北山千華子 (経済2)  
西尾佳瑠子 (シス工2)  
大井愛恵 (経済1)  
晒佳奈 (経済1)  
百松朱音 (経済1)  
山口柚香 (経済1)

### Alto

佐藤ゆかり (経済4)  
重岡美香 (観光4)  
濱村彩夏 (観光4)  
藤田紗千枝 (シス工4)  
渡瀬瑞稀 (観光4)  
魚本潮音 (シス工3)♪  
岡本萌依 (教育3)  
小野有香 (教育3)  
小林靖果 (観光3)☆  
北野愉己 (経済2)  
小中春奈 (経済2)  
森田恵 (教育2)  
井芹朋華 (シス工1)  
上野愛実 (教育1)  
寺地亜美 (経済1)  
前田紗希 (シス工1)  
松浦玲奈 (観光1)

### Tenor

鳴神一樹 (教育学研究科 M1)  
岡田啓 (経済4)  
栗原元樹 (教育4)  
谷脇翼 (シス工4)  
坪内浩平 (経済4)  
東海一達 (シス工4)  
中埜尚次 (教育4)  
向井徳 (シス工4)  
伊藤智哉 (シス工3)  
今福誠大 (シス工3)  
大成博士 (経済3)  
大橋佳浩 (経済3)  
金尾壮徳 (教育3)♪  
巽颯馬 (観光3)  
鶴西将也 (シス工3)  
西村和樹 (シス工3)  
森本慎生 (教育3)  
大川力也 (シス工2)  
堀内岳 (シス工2)  
岡崎喜光 (シス工2)  
川島晁 (経済1)  
藤本多敬 (観光1)  
望月僚太 (シス工1)  
山崎智也 (シス工1)

### Bass

今中滉大 (シス工4)  
梅澤良斗 (シス工4)  
萩野友崇 (シス工4)  
香川太一 (シス工4)  
清水改 (シス工4)  
牧祐介 (シス工4)  
松田悠矢 (シス工4)  
安岡大輝 (シス工4)  
柳塘崇万 (シス工4)  
内山遼太 (シス工3)  
小口知希 (シス工3)  
斉藤慎吾 (シス工3)  
立村啓樹 (シス工3)  
費川翔平 (教育3)♪  
藤田浩介 (シス工3)○  
堀内奎介 (経済3)  
松永幸也 (教育3)  
行田結希 (シス工2)  
筒井洋貴 (経済1)  
辻碧 (教育1)  
中野雄太 (シス工1)  
山本裕喜 (シス工1)

○は代表、☆は指揮者、♪は技系

## ▶定期演奏会情報

### 関西大学グリークラブ

12月16日(日)

@伊丹アイフォニックホール

### 大阪教育大学混声合唱団

12月2日(日)

@柏原市民文化会館

リビエルホール大ホール

### 奈良女子大学音楽部

12月24日(月・祝)

@DMG MORI

やまと郡山城ホール

### 和歌山大学混声合唱団

12月15日(土)

@和歌山市民会館大ホール

## ▶編集後記

本日はお忙しい中 Joint Concert2018~であい~にお越しいただき誠にありがとうございます。パンフレットの作成など編集としての仕事は初めてするため、色々と分からないことだらけで失敗し迷惑もお掛けしましたが、編集のメンバーと一緒にこのパンフレットを完成できたことを大変嬉しく思っております。ご協力いただいた皆様に厚く御礼申し上げます。

関西大学グリークラブ 編集部長 福西直樹

本日は Joint Concert 2018~であい~にご来場頂き、誠にありがとうございます。最初はパンフレットを作る、という行為に関わることで、不安がありましたが、助け合いながら、無事パンフレットを完成することができました。演奏のお供にどうぞご覧ください。そしてこの場を借りて、演奏会に関わって下さった皆様に感謝申し上げます。

大阪教育大学混声合唱団 越智響

本日は Joint Concert 2018~であい~にご来場頂きまして、誠にありがとうございます。初めての編集作業で分からないことが多く大変でした。しかし、編集のメンバーに助けられながら無事完成し皆様のお手元に届いておりますこと、とても嬉しく思います。お世話になった皆様、ご協力いただいた皆様に改めて感謝申し上げます。

奈良女子大学音楽部 岡美佐

初めて Joint Concert の運営に編集という役職で携わる機会をいただき、ご迷惑も多くおかけしましたが、頼もしい各団の編集の皆さんと協力し、こうして無事パンフレットを完成させることができました。パンフレットを通して、ご来場の皆様が演奏会をよりいっそう楽しんでいただけますことを願っています。

和歌山大学混声合唱団 小野有香

わからないことだらけで、たくさん仲間に助けられました。ありがとうございました。このパンフレット、演奏会をより素敵なものになって、いつか見返したとき楽しかった思い出を思い起こすことができるものになっていたらとても嬉しいです。

和歌山大学混声合唱団 小森理子

## ▶後援 関西合唱連盟 大阪府合唱連盟 奈良県合唱連盟

関西大学 学歌

作詞 服部嘉香  
作曲 山田耕作

一 自然の秀麗 人の親和

たぐいなき 此の学園

我等立つ 人生の曙に

燦たる理想 仰ぎつつ

学ぶは一途 純正の

若き心に 讃えなん

関西大学 関西大学

関西大学 長き歴史

三 自由の尊重 自治の訓練

たぐいなき 此の学園

我等期す 人格の向上に

正義の奉仕 世に為すと

希うは一途 先進の

歩みさだかに 伝えばや

関西大学 関西大学

関西大学 高き権威

大阪教育大学 学園歌

作詞 大阪教育大学学園歌選定委員会  
作曲 山縣茂太郎

一 五月が丘は緑して

流れも清き猪名(いな)の川

栄えある伝え讃えつつ

教への道を求めゆく

わが学び舎の鐘が鳴る

誇りも高き鐘が鳴る

二 金剛の峰遙けて

流れ尽きせぬ淀の水

いやまず望み胸に秘め

真理の道を究めゆく

わが学び舎の鐘が鳴る

希望に燃える鐘が鳴る

三 浪速の里は賑わいて

行く手に開く茅渚(ちぬ)の海

豊けき生命育みて

新しき世を開きゆく

わが学び舎の鐘が鳴る

明日を創る鐘が鳴る

奈良女子高等師範学校校歌

作詞 貞明皇后  
作曲 東京音楽学校

一 春日の山に 出つる日の

くもらぬひかり あふきつ、

かさせやこころの花さくら

つめよまことのをしへ草

二 みなもと清き 佐保川の

みきはのやなき うちはへて

ふるきをたつね あたらしき

道にすすめや ひとすちに

和歌山大学 学歌

作詞 岩崎真澄  
作曲 片山頌太郎

一 山脈の つらなる果てに

黒潮は 岸辺を洗う

若人は 夢はるけし

希望 大学 われら

三 目路はるか、真理への道

ひたぶるに 求めてすすむ

若人は 誇たかし

理想 大学 われら